

關西大學專門部學則

昭和五年二月

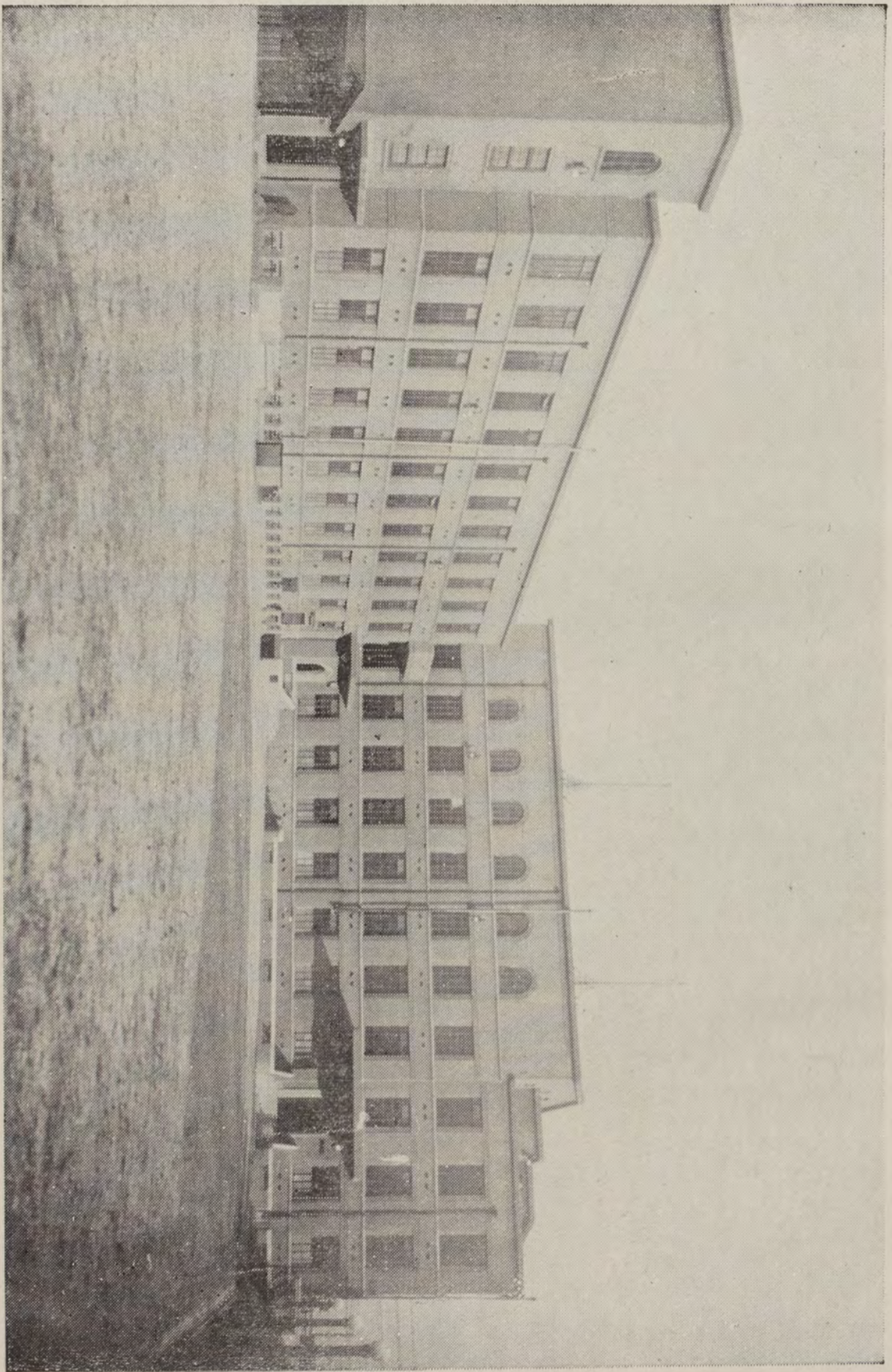


特典

- 一 専門部本科卒業者ハ考試ノ上學部ニ入學スルコトヲ得
- 二 専門部本科卒業者ハ文官高等試驗令ニ依ル豫備試驗ヲ免除セララル
- 三 専門部本科生ハ兵役法ニ依リ在學中徵集延期ノ特典ヲ有ス
- 四 専門部商業學科本科卒業者ニシテ在學中成績優良ナル者ハ實業學校教員無試験檢定ヲ受クル資格ヲ有ス
- 五 専門部商業學科本科卒業者ハ計理士タルノ資格ヲ有ス
- 六 専門部別ニ於テ科三ヶ年ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタル者ハ大正二年勅令第二百六十一號第六條ニ依リ無試験ニテ判任文官ニ任用セラルル資格ヲ有ス
- 七 専門部文學科本科卒業者ニ對シ中等教員無試験檢定許可申請中

各部始業時間

専門部		部別	時間
商業學科	經濟學科	第一部	始業 午前八時 乃至九時
英語專攻科	國語漢文專攻科	第二部	始業午後五時
商業學科	經濟學科		
法律學科	法律學科		

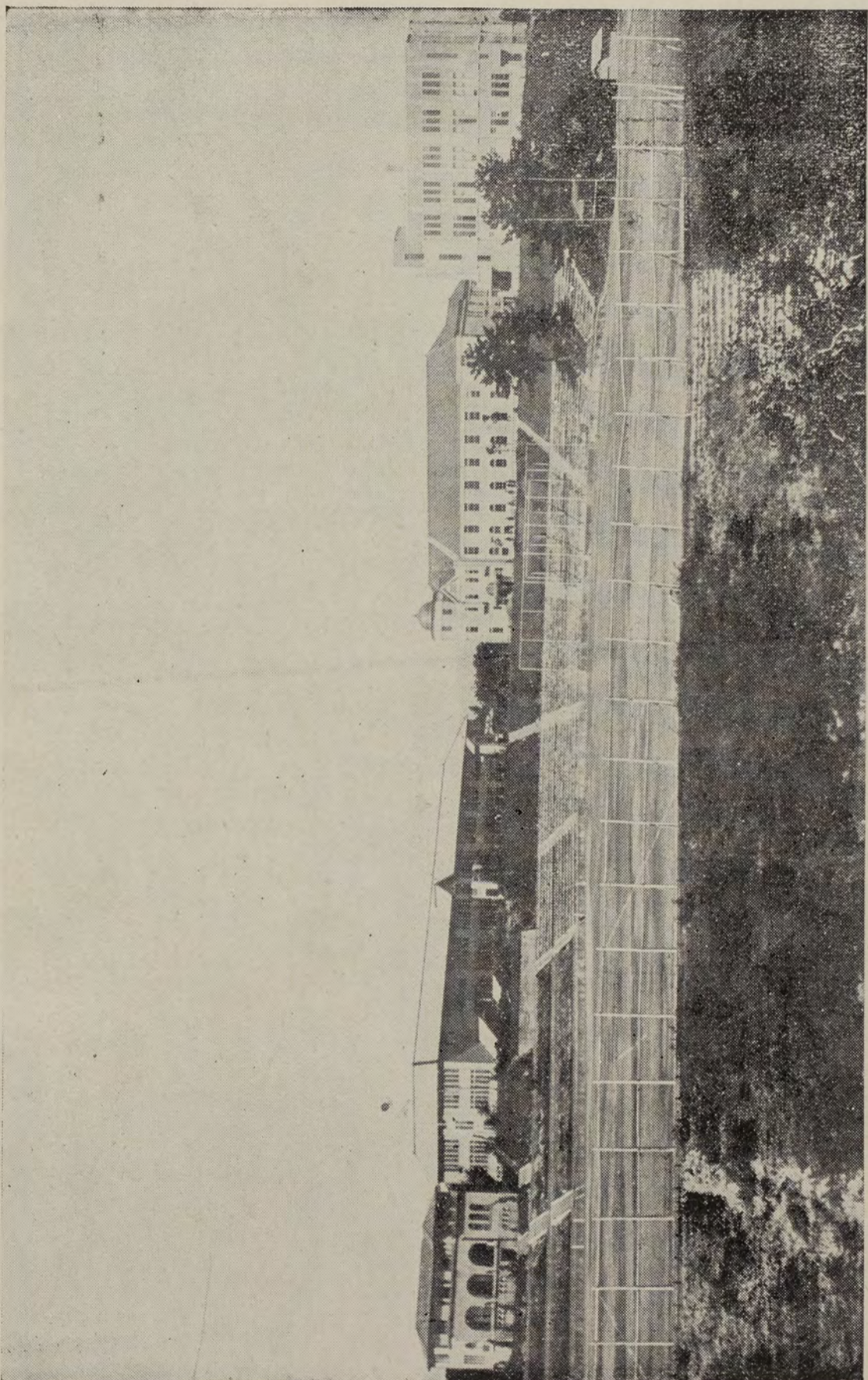


(部門草) 舍學六天學大西關

貴館
277

2000051028

關西大學千里山學舎・院學大(科學大・學部・學大)



關西大學專門部學則

第一章 總 則

- 第一條 本學專門部ハ專門學校令ニ依リ高等專門ノ學術ヲ教授シ兼テ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スルモノトス
- 第二條 本學專門部ノ修業年限ハ三年トス
- 第三條 本學專門部ニ法律學科、經濟學科、商業學科及文學科ヲ置ク
但第一部文學科ハ當分之ヲ置カス
- 第四條 本學專門部ノ授業ハ之ヲ二部ニ分チ第一部ヲ晝間授業、第二部ヲ夜間授業トス
- 第五條 本學專門部生徒ヲ分チテ本科生、別科生トス
- 第六條 本學專門部ノ生徒定員ヲ左ノ通り定ム

	法律學科	經濟學科	商業學科	文學科	計
第一部	六〇〇	三〇〇	三〇〇		一、二〇〇
第二部	九〇〇	三〇〇	四五〇	四二〇	二、〇七〇

第二章 學年、學期及休業日

第七條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
第八條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日乃至八月三十一日
第二學期 九月一日乃至十二月三十一日
第三學期 一月一日乃至三月三十一日

第九條 學年中休業日左ノ如シ

日曜日、祝祭日及本大學記念日(六月二十五日及十二月十三日)
春季休業 四月一日乃至同十日
夏季休業 七月二十六日乃至九月十日
冬季休業 十二月二十六日乃至翌年一月十日

第三章 學科課程

第十條 各學科ノ學科目及學科課程左ノ如シ

法律學科

第一學年	第二學年	第三學年
法學通論	行政法總論	行政法各論
憲法	民法總論	民法親族
民法總則	民法契約	民法相續
民法債權總論	民法事務管理以下	民法保險
民法債權一部	民法會社	民法海商
刑法總論	商法總論	商法海商
刑法分論	商法會社	商法海商
刑事訴訟法	商法行爲	商法海商
經濟原論	民事訴訟法總則	破產法
社會學	民事訴訟法第二編	國際私法
倫理學	刑法各論	財政學
心理學	國際公法	哲學概論
英語	論理學	英語
	英語	英語
	獨語又ハ佛語	獨語又ハ佛語
合計	合計	合計
二九	三〇	三二
時數週	時數週	時數週

經濟學科

第一學年	第一學年	第二學年	第三學年
科目	科目	科目	科目
經濟原論	特殊經濟史	商業政策	商業政策
一般經濟史	經濟政策一般	工業政策	工業政策
經濟地理	農業政策	經濟學史	經濟學史
憲法	民法債權	社會政策	社會政策
民法總則	商法	財政學	財政學
民法物權	取引所	商法海商	商法海商
商業通論	交通	破產法	破產法
銀行及金融	保險	外國為替	外國為替
社會學	統計學	外國貿易	外國貿易
心理學	政治學	海外經濟事情	海外經濟事情
倫理學	論理學	哲學概論	哲學概論
英語	英語	英語	英語
獨語又佛語	獨語又佛語	獨語又佛語	獨語又佛語
合計	合計	合計	合計
二八	二八	二九	三〇
商業數學(隨意科目)	簿記學(隨意科目)	會計學(隨意科目)	

商業學科

第一學年	第二學年	第三學年
科目	科目	科目
商業通論	取引所	海上保險
銀行及金融	倉庫、稅關	外國為替
商業數學	交通	外國貿易
商業簿記	保險	英文簿記
商品學	銀行簿記	會計學
商業地理	工業簿記	商法手形
民法總則	商業歷史	破產法
民法債權	商業法	商業政策
經濟原論	商法	工業政策
心理學	經濟政策一般	財政學
倫理學	論理學	海外經濟事情
英語	英語	哲學概論
獨語又佛語	獨語又佛語	國民道德
合計	合計	合計
三一	三一	三一

文學科

合計	國語及漢文	心理學	國史	法學通論	漢文	國語	國民道德	教育概論	第一學年	第二學年	第三學年
									科目	科目	科目
									目	目	目
									時數週	時數週	時數週
三二	三	二	二	二	一〇	一〇	一	二	二	一	
合計	國語及漢文	心理學	國史	法學通論	漢文	國語	國民道德	教育概論	第一學年	第二學年	第三學年
									科目	科目	科目
									目	目	目
									時數週	時數週	時數週
三二	三	二	二	二	一〇	一〇	一	二	二	一	

文學科

合計	國語及漢文	心理學	國史	法學通論	漢文	國語	國民道德	教育概論	第一學年	第二學年	第三學年
									科目	科目	科目
									目	目	目
									時數週	時數週	時數週
三二	三	二	二	二	一〇	一〇	一	二	二	一	
合計	國語及漢文	心理學	國史	法學通論	漢文	國語	國民道德	教育概論	第一學年	第二學年	第三學年
									科目	科目	科目
									目	目	目
									時數週	時數週	時數週
三二	三	二	二	二	一〇	一〇	一	二	二	一	

第四章 入學、休學、退學及懲戒

第十一條

本科生トシテ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニシテ考試ノ上之ヲ定ム

- 一 中學校卒業者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラレタル者

第十二條

別科生トシテ入學ヲ許可スヘキ者ハ本學專門部ニ於テ中學校卒業程度ニ依リ行フ試験ニ合格シタル者ニシテ詮衡ノ上之ヲ定ム

第十三條

前項ノ試験科目ハ其ノ都度之ヲ定ム

本科第二學年以上ニ編入ヲ許可スヘキ者ハ第十一條ノ資格ヲ有シ且前各學年ノ全科目ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

第十四條

本學專門部ト同等ノ學校ニ在學シタル者ニシテ轉學ヲ願出ツルトキハ缺員アル場合ニ限り相當ノ學級ニ編入ス 但學科課程中他校ニ於テ修了セサルモノアルトキハ其科目ニ就キ試験ヲ行フコトアルヘシ

第十五條

入學ハ毎年四月一日ヨリ三十日間トス但別科生及他ノ同等ノ學校ヨリ轉學スル者ハ此限ニアラス

第十六條

入學志願者ハ入學願書ニ左ノ書類及受験料金五圓ヲ添ヘテ願出ツヘシ既納ノ受験料ハ事由ノ如何ヲ問ハス之ヲ返附セス

一 履歴書

二 入學資格證明書(卒業成績證明書又ハ試験合格證明書)

別科入學志願者ハ入學資格證明書ヲ要セス

三 戶籍謄本

第十七條

入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ヲ得タルトキヨリ一週間以内ニ保證人連署ノ誓約書ヲ提出スヘシ保證人ハ大阪市内又ハ其ノ附近ニ一家計ヲ立ツル成年者タルコトヲ要ス

第十八條

退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ退學願書ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ

第十九條

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヨリ除名ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 正當ノ事由ナクシテ引續キ一ヶ月以上缺席シタル者
- 四 引續キ一ヶ年以上缺席シタル者
- 五 授業料ヲ納入セサル者

第二十條

本學專門部ノ定ムル諸規則、命令又ハ訓戒ヲ遵守セサル者ハ謹慎、停學若クハ退學ヲ命ス

第二十一條

疾病其ノ他止ムヲ得サル事由ニ由リ修學スルコト能ハサル者ハ許可ヲ得テ其學年末マテ休學スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

休學ノ許可ヲ得タル者ハ休學滿期後其ノ原級ニ入り修學スルモノトス 但休學期間内ト雖モ其ノ事由消滅シタルトキハ許可ヲ得テ復學スルコトヲ得

第二十二條

休學シタル者ハ當該學年間ニ於ケル試験ヲ受クルコトヲ得ス
本人又ハ保證人轉籍、轉居若クハ氏名ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ツヘシ但
本人轉籍又ハ氏名ヲ變更シタル場合ハ之ヲ證明スヘキ戸籍抄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第五章 進級、卒業

第二十三條

進級試験、卒業試験ハ每學年末之ヲ行フ但各學期末ニ於テ授業科目ノ内數科目若クハ全科
目ニツキ試験ヲ行フコトアルヘシ

第二十四條

進級試験、卒業試験ニ際シ疾病其ノ他正當ノ事由ニ由リ之ニ應スルコト能ハサリシ者ノ爲
追試験ヲ行フコトアルヘシ

第二十五條

追試験ハ第一學期始業後三十日以内ニ之ヲ行フ

第二十六條

進級試験及卒業試験成績ハ一科目百点ヲ滿點トシ各科目ノ合計點數ヲ平均シ六十點以上ヲ
以テ合格トス 但平均六十點以上ノ場合ト雖モ三十點未滿ノ科目アルトキハ不合格トス

第二十七條

卒業試験ニ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第六章 入學金及授業料

第二十八條

入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學金五圓ヲ納ムヘシ

第二十九條

授業料ハ在學中出席缺席ニ拘ラス左ノ三期ニ分チ各學期授業開始ノ日ヨリ一週間内ニ納付
スヘシ

學期別	部別	第一 部	第二 部
第一學期		金參拾貳圓	金貳拾八圓
第二學期		金參拾貳圓	金貳拾八圓
第三學期		金貳拾六圓	金貳拾壹圓
合 計		金九拾圓	金七拾七圓

第三十條

追試験ヲ受ケントスルモノハ受験料金五圓ヲ納付スヘシ

第三十一條

休學シタル者ハ休學期間中授業料ヲ納ムルコトヲ要セス

第三十二條

既ニ收納シタル入學金及授業料ハ事由ノ如何ヲ問ハス之ヲ返附セス

第七章 聽講生

第三十三條

本學専門部所定學科目ノ全部又ハ一部ヲ聽講セントスル者ハ聽講生トシテ入學ヲ許可スル
コトアルヘシ

第三十四條

聽講生ハ志望學科ヲ履修シ得ルニ足ル學力アリト認メタル者ニ限り考查ノ上之ヲ定ム

第三十五條

聽講生ハ聽講シタル學科目ニツキ本科生ト同一ノ試験ヲ受クルコトヲ得
前項ノ試験ニ合格シタル者ハ願ニ依リ修業證書ヲ授與ス

第三十六條

第十六條乃至第二十二條、第二十八條乃至第三十二條及生徒心得ハ之ヲ聽講生ニ準用ス

第八章 生徒心得

第三十七條

本學專門部生徒ハ常ニ左ノ諸項ヲ服膺スヘシ

- 一 國體ヲ重シ德行ヲ修テ本學專門部生徒タルノ體面ヲ保ツヘシ
- 二 校規ヲ遵守シ言行ヲ慎ミ本學專門部ノ學風ヲ振興スヘシ
- 三 師長ヲ敬ヒ禮儀ヲ尊ヒ友誼ヲ厚クスヘシ
- 四 質素清潔ヲ旨トシ衛生ニ留意スヘシ
- 五 昇校ノ際ハ必ス聽講券ニ本校所定ノ認印ヲ受ケ毎月末生徒課ヘ提出シテ出席日數ノ調査ヲ受クヘシ
- 六 校舎内ニ於テハ制服制帽ヲ着用スヘシ 但止ムヲ得サルトキハ洋服又ハ袴ヲ着用スルコトヲ得
- 七 校舎内ニ於テハ靴又ハ上草履ヲ用フヘシ
- 八 教室ニアリテハ靜肅ヲ旨トシ苟モ粗暴ノ舉動アルヘカラス
- 九 授業中ハ退席スルコトヲ得ス止ムヲ得サル事由ニ由リ退席セントスルトキハ教師ノ許可ヲ受クヘシ
- 十 授業ヲ缺席スルトキハ其ノ事由ヲ明記シ届出ツヘシ
- 十一 演說會、討論會其他ノ會合ヲナシ又ハ團體ヲ組織シ若クハ印刷物ヲ刊行又ハ頒布セントスルトキハ其ノ旨ヲ學生課ニ届出テ學長ノ許可ヲ受クヘシ
- 十二 生徒ハ金錢物品ヲ醜集スヘカラス但正當ノ事由アルトキハ學生課ヘ届出テ學長ノ許可ヲ受クヘシ
- 十三 校舎内ニ於テハ生徒控室以外ノ場所ニ於テ喫煙ヲナスヘカラス

- 十四 建物、器具、樹木等ヲ毀損スヘカラス
- 十五 揭示ハ所定ノ場所以外ニ之ヲナスヘカラス揭示事項ハ豫メ學生課ノ檢閲ヲ受クヘシ

關西大學學友會會則

一四

第一章 目的

第一條 本會ハ本學建設ノ趣旨ニ從ヒ會員相互ノ親睦品性ノ陶冶智識ノ修得体力ノ養成ニ努ムルヲ以テ目的トス

第二章 名稱

第二條 本會ハ關西大學々友會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ關西大學專門部内ニ置ク

第三章 組織

第四條 本會ハ關西大學專門部生徒ヲ以テ組織ス

第五條 本會ハ關西大學監督ノ下ニ生徒ノ自治トシ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 副會長 一名

會計主任 一名 幹事長 一名

幹事 若干名

第六條 會長ニハ關西大學々長ヲ、又副會長ニハ關西大學專門部主事ヲ推ス、會計主任ハ關西大學會計主任ヲ推ス、幹事ハ各科學年毎ニ會員中ヨリ之ヲ選舉ス、幹事長ハ幹事之ヲ互選ス

第七條 幹事ノ選舉ハ次ノ二期ニ分ツテ之ヲ行フ

各科二、三學年ハ前年度十二月廿中、各科一學年ハ五月中、補缺選舉ハ幹事候補員ヲ生シタルトキ當該科學

年ニ於テ直チニ之ヲ行フ

第八條 幹事ノ任期ハ一ケ年トス 但再選ヲ妨ケス

各科一學年選出幹事及補缺幹事ノ任期ハ就任ノ日ヨリ次期改選迄トス

第九條 役員ノ職務左ノ如シ

一、會長ハ本會ヲ總理ス

二、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長差支アルトキ代理ス

一、會計主任ハ金錢ノ出納及保管ヲ爲ス

一、幹事長ハ幹事ヲ指揮シ幹事會ヲ召集シ同會ヲ代表ス

表ス

一、幹事ハ會務ヲ處理ス

一、幹事長補佐機關トシテ書記一名ヲ置ク、書記ハ幹事長ノ推薦ニ依リ幹事會ニ於テ幹事中ヨリ之ヲ任命ス

第十條 幹事會ハ幹事半數以上ノ出席ニ依リ成立ス

幹事會ノ議決ハ出席幹事過半數ノ同意アルヲ以テ有效トス、可否同數ナルトキハ幹事長之ヲ決ス

會長、副會長及會計主任ハ幹事會ニ於テ意見ヲ述ブルコトヲ得

其ノ他幹事會ニ關スル事項ハ幹事會細則ノ規定ニ依

第十一條 本會ハ毎年一回以上會員ノ懇親會ヲ開催ス

第六章 會費及會計

第十八條 會員ノ負擔次ノ如シ

一金貳 圓也 入會ノ際納付スヘシ

一金五十錢也 毎月授業料ト共ニ納付スヘシ

入金及預金利息ハ基本金トシテ積立テ會費及其ノ利息ハ其年度ノ事業費ニ充當ス

本會ノ收支豫算ハ幹事會ニ於テ編成シ會長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

豫算案ハ各部長ノ協定ヲ經テ幹事長之ヲ提案ス

運動部各部ノ豫算細目ハ運動部長ノ提案ニヨリ幹事會之ヲ決ス

第二十一條 年度末ノ剩餘金ハ次年度ニ繰越ス

支拂ヲ要スルトキハ當該部長ハ傳票ニ支出理由書ヲ添ヘ幹事長ヲ經テ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス

會計主任カ前項ノ傳票ヲ受ケタルトキハ會長ノ認印ヲ受ケ支拂ヲ受ケヘキ者ニ直接之ヲ支拂フヘシ

直接支拂ヲ爲シ得サル場合ニ於テハ當該部長幹事長ノ連帶責任ヲ以テ假支出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得コノ場合ニ於テハ支拂後滯滞ナク決算書ヲ作成シ領收書ヲ添ヘ會計主任ニ差出シ豫算ヲ爲スヘシ

第十六條 本會ハ毎年一回以上會員ノ懇親會ヲ開催ス

第十七條 本會ノ會計年度ハ毎年一月一日ヨリ十二月卅一日迄トス

第十八條 會員ノ負擔次ノ如シ

一金貳 圓也 入會ノ際納付スヘシ

一金五十錢也 毎月授業料ト共ニ納付スヘシ

入金及預金利息ハ基本金トシテ積立テ會費及其ノ利息ハ其年度ノ事業費ニ充當ス

本會ノ收支豫算ハ幹事會ニ於テ編成シ會長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

豫算案ハ各部長ノ協定ヲ經テ幹事長之ヲ提案ス

運動部各部ノ豫算細目ハ運動部長ノ提案ニヨリ幹事會之ヲ決ス

第二十一條 年度末ノ剩餘金ハ次年度ニ繰越ス

支拂ヲ要スルトキハ當該部長ハ傳票ニ支出理由書ヲ添ヘ幹事長ヲ經テ會計主任ヘ提出スルコトヲ要ス

會計主任カ前項ノ傳票ヲ受ケタルトキハ會長ノ認印ヲ受ケ支拂ヲ受ケヘキ者ニ直接之ヲ支拂フヘシ

直接支拂ヲ爲シ得サル場合ニ於テハ當該部長幹事長ノ連帶責任ヲ以テ假支出ヲ爲シタル上支拂ヲ爲スコトヲ得コノ場合ニ於テハ支拂後滯滞ナク決算書ヲ作成シ領收書ヲ添ヘ會計主任ニ差出シ豫算ヲ爲スヘシ

第五章 事業

第十二條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達センカ爲メ事業ヲ左ノ部ニ分ツ

一、向上部

一、文藝部

一、辯論部

一、運動部(柔道、劍道、陸上、水上、馬術、庭球、野球、角力)

幹事會ノ決議及會長ノ許可ヲ經テ一定期間一種又ハ數種ノ事業ヲ休止スルコトヲ得

第十三條 各部役員左ノ如シ

部長 一名 幹事會ニ於テ幹事中ヨリ之ヲ選任ス

副部長 一名 委員會ノ推薦ニ依リ幹事會ニ於テ幹事中ヨリ之ヲ任命ス

委員 委員會細則ニ依ル

各部役員ノ職務左ノ如シ

部長ハ當該部ヲ統帥シ之ヲ代表ス

副部長ハ部長ヲ補佐シ部長差支アルトキ代理ス

委員ハ部長ノ指揮ニヨリ部務ヲ處理ス

本會ニ於テ舉行スル事業ハ豫メ幹事長ヲ經テ會長ニ報告スルコトヲ要ス

會長ハ事業ノ延期又ハ廢止ヲ命スルコトヲ得

第十四條 各部役員ノ職務左ノ如シ

部長ハ當該部ヲ統帥シ之ヲ代表ス

副部長ハ部長ヲ補佐シ部長差支アルトキ代理ス

委員ハ部長ノ指揮ニヨリ部務ヲ處理ス

本會ニ於テ舉行スル事業ハ豫メ幹事長ヲ經テ會長ニ報告スルコトヲ要ス

會長ハ事業ノ延期又ハ廢止ヲ命スルコトヲ得

一五

第二十三條

會計主任カ自己管掌事務ノ爲メ金錢ノ支出ヲ要スルトキハ自ら傳票ニ調印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受クルコトヲ要ス

第二十四條

金錢ノ支拂ヲ爲シタル場合ハ必ス支拂先ヨリ領收書ヲ徴スヘシ但シ性質上領收書ヲ徴スル能ハサルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名捺印シタル書面ヲ作リ領收書ニ代フルコトヲ得

第二十五條

會計主任ハ毎會計年度末ニ於テ收支決算書ヲ作成シ幹事會ノ審査ヲ經テ會長及會員ニ報告スヘシ

第二十六條

基本金ノ支出ハ幹事會ニ於テ幹事總員ノ十分ノ七以上ノ同意ヲ以テ議決シ本大學校友會常議員會ノ同意ヲ得且會長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第七章 補則

第二十七條

幹事會細則及各部委員會細則ハ幹事會ニ於テ之ヲ定メ會長ノ認可ヲ得テ各部細則ハ各部委員會ニ於テ之ヲ定メ幹事會ノ承認ヲ經テ會長ノ認可ヲ受ケ各々之ヲ施行ス之カ變更改廢モ亦同シ

第二十八條

本會則ノ變更又ハ改廢ハ幹事總員ノ三分ノ二以上出席シ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ議決シ會長ノ認可ヲ經テ施行ス

附則

本會則ハ認可ノ翌日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和四年拾月拾八日幹事會ニテ決定)

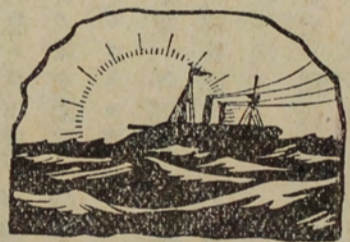


Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers, likely a ledger or record book. The text is mostly illegible due to fading.

◎昭和五年四月ヨリ専門部第一部(晝間部)ヲ開設ス

關西大學専門部入學要覽

(一) 募集學科及學年

●本科第一學年	法律學科、經濟學科、商業學科 法律學科、經濟學科、商業學科 文 學 科 (國語漢文專攻科)	第一部(晝間)
●別科第一學年	法律學科、經濟學科、商業學科 文 學 科 (英語專攻科)	第二部(夜間)
	法律學科、經濟學科、商業學科 科 (國語漢文專攻科)	第二部(夜間)

(二) 本科生入學資格

- 一、中學校ヲ卒業シタル者
- 二、專門學校入學者檢定規程ニ依リ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラレタル者(甲種程度實業學校卒業者ヲ含ム)
- 三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

別科生入學資格

本學専門部ニ於テ施行スル左ノ試驗ニ合格シタル者
國語、漢文、作文、數學(算術)、英語

入學願書受附 二月二十日ヨリ三月三十一日迄

(四)(五) 出願ニ要スル書類

- 一、入學願書(用紙ハ本學ニ於テ交付ス)
- 二、入學資格證明書(卒業成績證明書又ハ)但別科生ハ之ヲ要セス
- 三、戶籍抄本(最近ノモノ)
- 四、寫 眞(最近半身撮影ノ臺紙ナキ手札形ニシテ裏面ニ自署シタルモノ)
- 五、試驗檢定料 金五圓

(六) 入學試驗科目及期日

期 日	部 別	自 午 前 十 時	自 午 後 一 時
四月二日(水)	第一部本科 第二部本科	英語(和譯) 作文(邦文) 英語(和譯) 作文(邦文)	人物試問
四月四日(金)	第一部本科 第二部別科	英語(和譯) 作文(邦文) 英語(和譯) 作文(邦文)	國語、漢文、數學(算術)
	第一部本科 第二部別科	人體格 檢 查 人 物 試 問	人物試問

服 裝 洋服又ハ袴ヲ着シ靴又ハ草履ヲ用フルコト

携 帶 品 試驗場ニハ「ペン」「インク」受驗票ヲ持シ、ヘシ 但試驗答案用紙ハ本學ヨリ交付ス

(七)(八)(九) 入學許可者發表

四月十日(木)午後四時本學専門部生徒控室ニ揭示ス

入學手續 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左ノ學費ヲ納入スヘシ

日 時 四月十二日(土)午前九時ヨリ午後六時迄

入 學 金	第 一 部	第 二 部
學友會入學金	五、〇〇〇	五、〇〇〇
昭和五年度學用品代	二、〇〇〇	二、〇〇〇
第一學期分授業料	二、〇〇〇	二、〇〇〇
第一學期分學友會會費	二、〇〇〇	二、〇〇〇
合 計	四三、〇〇〇	三九、〇〇〇

注意 入學ノ許可ヲ得タル者ハ一週間以内ニ保證人連署ノ誓約書(用紙ハ本學ヨリ交付ス)ヲ提出スヘシ保證人ハ大阪市又ハ其ノ附近ニ一家計ヲ立ツル成年者タルコトヲ要ス(學則第十七條參照)

(四) 入學願書 受附 二月二十日ヨリ三月三十一日迄
 (五) 出願ニ要スル書類

- 一、入學願書(用紙ハ本學ニ於テ交付ス)
- 二、入學資格證明書(卒業成績證明書又ハ)但別科生ハ之ヲ要セス
- 三、戸籍抄本(最近ノモノ)
- 四、寫 眞(最近半身撮影ノ畫紙ナキ手札形ニシテ裏面ニ自署シタルモノ)
- 五、試験檢定料 金五圓

(六) 入學試驗科目及期日

期 日	部 別	自 午 前 十 時	自 午 後 一 時
四月二日(水)	第一部本科	英語(和譯) 作文(邦文)	人物試問
	第二部本科	英語(和譯) 作文(邦文)	國語、漢文、數學(算術)
四月四日(金)	第一部本科	英語(和譯) 作文(邦文)	人物試問
	第二部本科	英語(和譯) 作文(邦文)	國語、漢文、數學(算術)

服 裝 洋服又ハ袴ヲ着シ靴又ハ草履ヲ用フルコト

携 帶 品 試驗場ニハ「ペン」「インク」受驗票ヲ持參スヘシ 但試驗答案用紙ハ本學ヨリ交付ス

(七) 入學許可者發表

四月十日(木)午後四時本學專門部生徒控室ニ揭示ス

入學手續 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左ノ學費ヲ納入スヘシ

日 時 四月十二日(土)午前九時ヨリ午後六時迄

入 學 費	第 一 部	第 二 部
	入 學 會 入 學 金	五、〇〇〇 一回限
昭和五年度學用品代	二、〇〇〇 年一回	二、〇〇〇 年一回
第一學期分授業料	三二、〇〇〇	二八、〇〇〇
第一學期分學友會會費	二、〇〇〇	二、〇〇〇
合 計	四三、〇〇〇	三九、〇〇〇

注意 入學ノ許可ヲ得タル者ハ一週間以内ニ保證人連署ノ誓約書(用紙ハ本學ヨリ交付ス)ヲ提出スヘシ 保證人ハ大阪市又ハ其ノ附近ニ一家計ヲ立ツル成年者タルコトヲ要ス(學則第十七條參照)

(八) 入 學 式

第一部(晝間部) 四月十四日(月)午前十時
 第二部(夜間部) 四月十四日(月)午後五時

(九) 授 業 開 始

第一部(晝間部) 四月十五日(火)午前八時三十分ヨリ
 第二部(夜間部) 四月十五日(火)午後五時ヨリ

參 考

- 一、專門部本科卒業生ハ考試ノ上學部ニ入學スルコトヲ得
- 二、專門部本科卒業生ハ文官高等試驗令ニ依ル豫備試驗ヲ免除セラル
- 三、專門部本科卒業生ハ兵役法ニ依リ在學中徵集延期ノ特典ヲ有ス
- 四、專門部商業學科本科卒業生ニシテ成績優良ナル者ハ實業學校教員無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有ス
- 五、專門部商業學科本科卒業生ハ計理士タル資格ヲ有ス
- 六、專門部別科ニ於テ三ヶ年ノ課程ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタル者ハ大正二年勅令第二百六十一號文官任用令第六條ニ依リ無試驗判任文官ニ任用セララル資格ヲ有ス
- 七、專門部文學科本科卒業生ニ對シ中等教員無試驗檢定許可申請中

昭和五年度

大阪市東淀川區長柄中通二丁目

關西大學專門部

電話 堀川(35) 一〇三九番
 一七五八〇番
 振替大阪一二八七五番

一、本報主人學資部
 二、專門學對入學在學部
 三、中學對本報主人學資部
 四、中學對本報主人學資部

(二) 本報主人學資部

● 限持第一學年
 文、理、法、醫、農、工、商、師、範、實業、音樂、美術、體育、衛生、家政、社會、政治、經濟、法律、文學、歷史、地理、自然、科學、哲學、宗教、藝術、音樂、美術、體育、衛生、家政、社會、政治、經濟、法律、文學、歷史、地理、自然、科學、哲學、宗教、藝術

(一) 本報主人學資部

關西大學專門培人學資部

◎ 昭和三十四年四月五日專門培人學資部開始

關西大學

關西大學

天六學舍(專門部)

大阪市東淀川區長柄中通二丁目
電話堀川(35) 七五〇八八三〇〇九番

千里山學舍

(大學院
大學豫科部)

大阪府外千里山
電話(吹田) 一二三番

振替口座大阪一二八七五番